

<p>名 称</p>	<p>中之条町立沢田幼稚園 P T A</p>
<p>会 員 数</p>	<p>25人 (令和4年5月1日現在)</p>
<p>組 織 ・ 運 営</p>	<p>【組織】 ○本部役員：会長1名、副会長2名（内1名女性）、書記2名（内1名職員）、会計2名（内1名職員） ○監査：1名 ○顧問：若干名 ○学級委員：3名（学級毎におく） 【運営】 ○本部役員会 年間4回開催（4月、5月、11月、1月） ○実行委員会 年間1回開催（8月） ・本部役員並びに学級委員を持って構成し、具体的に事業の実施計画の作成等にあたる。 ○総会 年間2回開催（5月、2月） ・年度始めと年度末に開催し、年間の活動の確認、総括、次年度に向けての組織作りを確認する。 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催時期、規模等に配慮しながら実施している。</p>
<p>主 な 活 動</p>	<p>1 家庭教育学級での親子の学び 年間4回実施する「家庭教育学級」は、講演や親子行事、祖父母参観など様々な内容・テーマで行っている。講演では、生活リズムを整える大切さや、アウトメディアの必要性を親子で学んだ。他に、親子のふれあいを深める餅つき集会、親同士の交流もあるスポーツチャンバラ教室、祖父母と観劇する人形劇を行った。県の事業で行った音楽演劇教室が好評で、PTA行事として2回目を実施し、親子で鑑賞した。これらの企画は、本部役員会で話し合っている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>

<p>名 称</p>	<p>藤岡市立鬼石中学校 P T A</p>
<p>会 員 数</p>	<p>7 6 人 (令和 4 年 5 月 1 日現在)</p>
<p>組 織 ・ 運 営</p>	<p>1 組織 ○本部役員 (会長 1 名・副会長 3 名・書記 1 名・会計 1 名・会計監査 2 名・顧問 1 名) ○学年委員 (各学年 4 名)</p> <p>2 運営 ○全家庭が P T A に加入 ○総会 (年度始・年度末) ○本部役員会・運営委員会 (学期 1 回) ○学校行事や地域行事への参加・協力 ○P T A 広報の作成・配付</p>
<p>主 な 活 動</p>	<p>【地域と連携した P T A 活動】</p> <p>1 <u>「藤岡市にぎわい観光課」と連携した「冬桜」の植樹</u></p> <p>古来の元服を迎える年にあたる 2 年生が学校から「冬桜」で有名な「桜山公園」まで歩く。公園では「立志の誓い」の記念に冬桜の苗木を植樹する。</p> <p>植樹の準備は P T A と「藤岡市にぎわい観光課」が連携し、苗木の調達、植樹する土壌の整備、植樹のやり方まで指導してくれる。おかげで、子どもたちは無事に植樹を行い、立志の誓いを行うことができる。</p> <p>「桜山公園」までの沿道では、P T A や地域の方の見守りにより、安全に登ることができる。</p> <p>地域と P T A の連携で子どもたちの活動が支えられている。</p>   <p>2 <u>地域の伝統行事の運営への参加や協力</u></p>  <p>鬼石には地域をあげて盛り上げている伝統行事がある。その一つ「鬼石夏祭り」は、ほぼ 1 年をかけて山車の整備をしたりお囃子の練習をしたりして、祭りの準備をする。その運営に多くの保護者が関わっており、お囃子で参加する</p>



子どもたちや安全パトロールなどで参加する教職員の橋渡しをしている。

令和2年度・3年度はコロナの影響で中止だったが、令和4年度は感染対策を施しながら実施し、鬼石全域から多くの生徒や保護者が参加し、祭りを盛り上げた。

地域とPTAが伝統行事の継承への思いを共有し、連携・協力して運営されている。

3 PTA講演会やPTA広報での学びの機会や学校の情報提供

年に一度、PTA講演会を開催し、親子と一緒に学ぶ機会にしている。令和3年度は、学校評価でSNSとのつきあい方が課題となり「ネットモラル講習会～携帯・インターネットの現状と課題～」の講演を開催し、令和4年度は、学校評価で地域との関わりが課題となり「豊かな地域社会づくりに貢献するために～私たちにできるSDGsの実践～」の講演を開催した。感染症対策を施しながら、生徒、教職員、多くの保護者も参加し、一緒に話を聞くことで家族で話題にする機会となった。



また、学期末にPTA広報を発行し、学校の教育活動やPTA活動の様子を知らせ、情報を共有できるようにしている。

4 成果や課題

こうした活動を通して、学校とPTAや地域が連携することができ、子どもたちを協働で育成する環境が整えられている。子どもたちは、地域に支えられていることを実感し、地域を愛する気持ちが十分に育まれている。

コロナ禍で学校と地域が共に行う活動には未だ制限があるが、そんな中でも子どもたちの学びをとめることなく、できることにしっかりと取り組めるよう、PTAが積極的に関わって協力していくことが求められる。

これまでに培われたつながりを大切にしながら、学校や地域の実情を加味して、これからのPTA活動を工夫して継続・充実させていきたい。

名 称	沼田市立白沢小中学校 P T A
会 員 数	2 1 1 人 (令和 4 年 5 月 1 日現在)
組 織 ・ 運 営	<p>◎本部役員会 (年 4 回) (会長 1 名、副会長 2 名、書記 1 名、会計 1 名、監査 1 名、専門委員長 3 名で構成)</p> <p>○運営委員会 (年 4 回) (本部役員 5 名、地区委員長 9 名、専門委員長 3 名、学年委員 36 名で構成)</p> <p>○専門委員会 (年 1 ~ 3 回) (文化委員会 10 名、体育委員会 10 名、補導委員会 10 名)</p> <p>○総会 (年 1 回) 全家庭が P T A に加入している。</p>
主 な 活 動	<p>1 文化委員会の取組</p> <p>(1) P T A 新聞の発行</p> <p>第 1 回は「活動目標」「新任職員」の紹介等、第 2 回は「6 年生が中学校で頑張りたいこと」「役員として学校行事への参加した感想」等を取り上げた。令和 3 年度より経費削減のため、業者印刷ではなく学校で印刷。</p> <div data-bbox="491 1061 1410 1608" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>スローガン</p> <p>子どもたちは、しかられたり、ほめられたりすることによって成長します。しかるべきときにはしっかりしかり、ほめるべきときにはたっぷりほめて育てましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他人の子どもほめたりしかったりできる親・P T A になろう！ ・学校・P T A・地域で子どもたちの安全を守ろう！ ・差別や偏見のない、明るくたくましい子どもに育てよう！ <p>今年度の重点目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だれにでも自分からあいさつのできる子どもに育てよう ・生命を大切にし、危険から身を守る子どもに育てよう ・読書に親しみ、美しいことを美しいと感じる子どもに育てよう ・差別や偏見のない、明るくたくましい子どもに育てよう </div> <p>(2) チャリティーバザー</p> <p>令和元年度まで町の文化祭会場の一角でチャリティーバザーを行った。毎</p>



年沢山の物品を寄付していただき約 10 万円ほどの収益が上がり、小学校児童会や中学校生徒会の活動費にあてていた。コロナ禍の感染防止のため町文化祭が中止されており、チャリティーバザーも開催できていない。現在、コロナ収束後の実施方法について検討している。

2 体育委員会の取組

(1) 小学校のプール当番

夏休みプール当番のために、体育委員を中心に「救急救命法講習会」を実施した。3年ぶりの開催だった。

(2) 小学校運動会、中学校体育大会への協力

本部役員と体育委員を中心に、小学校運動会（土曜日）と中学校体育大会（平日）で保護者受付や駐車場係の協力を行った。

(3) 小中学校マラソン大会への協力

小学校は 10 月開催、中学校は 5 月開催のマラソン大会に、本部役員と体育委員を中心に、マラソンコースの安全確保のために走路係として大会運営にかかわった。特に小学校のマラソン大会では、保護者の応援場所を指定し、密にならないよう呼びかけた。



3 補導委員会の取組

(1) あいさつ運動の実施

5月から 12 月まで毎月 1 回小学校で実施している小学生と中学生のあいさつ運動に補導委員も参加している。コロナ前は、ハイタッチをしながらあいさつをかわすなど、あいさつを通して温かい心のつながりを築けている。

(2) 安全マップの改訂作業

小中学校防犯マップを 3 年に一度改訂している。補導委員による通学路の安全点検を毎年実施し、防犯マップ上に危険箇所と「子ども安心の家」として協力いただいている約 100 軒の家庭や事業所を掲載している。

